

令和5年10月27日

太田市議会議長 矢部伸幸 様

立憲民主党 岩瀬 僚

JIAM（全国市町村国際文化研修所）研修報告書

「自治体予算を考える」

- 1 期日 令和5年8月17日(木)から8月18日(金)
- 2 研修先 全国市町村国際文化研修所
- 3 研修内容
 - ① 自治体予算の原則
 - ② 歳入予算の基礎とそのチェックポイント
 - ③ 歳出予算の基礎とそのチェックポイント
 - ④ グループ討議
 - ⑤ 財政の現状把握～地方公会計の活用～
 - ⑥ グループ討議

受 付	議会総務課
	令和5年10月27日
	第367号

自治体予算を考える

概要

自治体予算の原則・制度、歳入・歳出予算の基本的事項について学び、それぞれの自治体の財政運営について理解し、的確な予算審議ができる能力の向上を目指します。地方議会は、広く住民の意見や要望を把握し、議論することによって、住民の未来を創造する役割を担っています。地方の財政状況が厳しくなる中、住民の代表として一番身近な存在である地方議会は、まちの財政状況や施策を把握・議論することが、ますます重要となってきました。行政と共に住民のための予算を作成するにあたり、必要な知識や視点を身につけることを目的として、財政診断をもとに、持続可能な財政運営方策について考えます。

所感

新人議員が頭を悩ませるのは予算・決算であると認識していた。一般の複式簿記の会計と地方公共団体の予算・決算の違いに戸惑うことは多い。自主財源と依存財源、一般財源と特定財源などの歳入予算の基本的な構造や考え方や、予算計上にあたっての留意点、歳出予算の基本的な構造と考え方を継続的に学習していかなければ予決算の委員会で何が話し合われているのかさえも理解ができない。そのため本研修に参加した。

講義においては、地方財政の歳入の内訳や歳出の原則、国・地方間の財源配分、自治体の歳入を家計として捉えてみるというような内容を学んだ。自治体予算の原則として、見積であると同時に、支出の限度と内容を制限する拘束力を持つものであるとされている。

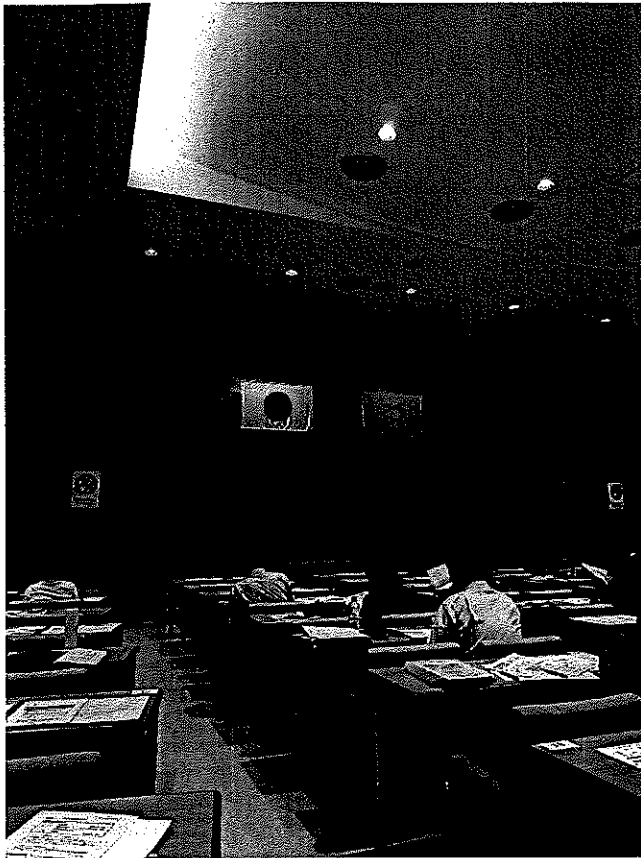
予算の意義としては

- ① 自治体の行政がどのように行われているかを具体的に表現した一覧表
- ② 住民を代表して議会が首長をコントロールする手段
- ③ 予算を通じて首長が自治体組織をコントロールする
- ④ 住民に情報提供、納めた税金がどのように使われ、効果的に還元されるかを判断する基礎

議会における予算審議のあり様をグループ討議で行った。各地方議会における予算の審査にあたって効果的に進めるために工夫していることや予算編成や財政状況で問題や課題になっていること、市民に対して予算編成状況や財政状況をわかりやすく説明するための工夫などが話し合われた。

予算審議する特別委員会のあり様が各地方議会で様々であることが非常に参考になった。予算審査においては、効果的な議論ができるように、執行部側から全議員を対象に説明会の時間を設けている議会や、決算時は、分科会方式を取り、常任委員会の専門性を高めている議会などもある。規模の小さい町議会では議員全員で予算審査特別委員会を設置し、全員で審査しているところもある。市民に対して、議会便りやホームページでの公表が主であった。

他議会の審査時の工夫は大変参考になったが、未だ予算の構造に関しては不明な部分が多い。そのために継続して学習をしていくことが求められると感じている。



(研修風景)



(予算審議のグループ討議)